

月例報告書 (10 月分)

留学先；ブルゴーニュ大学

氏名：坂口紅葉

はじめに

私が留学先にフランスを選んだ理由は、高校生の時からフランス語に興味を持っていてフランス語を話したいと思っていたからです。高校生の時に留学としていったカナダをとっても好きになり、次に行くときはケベック州に行き、フランス語を話したいと思いフランス語の勉強を始めました。大学を選ぶ時も留学を視野に入れていたので、無事留学することができてとてもうれしく思います。

留学準備について

私はとにかく何でも済ませるのが遅く、結論から言うと、私のフランスビザは出発の前日に届きました。結果として届いたから出国できたものの、いろんな人に迷惑をかけ、気が気じゃない日々を過ごすことになってしまったので、留学に行かれる方は必ず準備を早めに終わらせてください。持っていくべきもの、持っていく必要のないものは、インターネット等を使って調べるか、留学経験のある人に直接聞いてから準備するのがいいと思います。

フランスでの学校生活

クラス分けテストで下から二番目のクラスに入れたものの、授業はとても難しく、先生の言っていることのすべてを理解できているとはとても言えません。ですが、日々新しいことを学び、フランス語でフランス語を学ぶことはとても刺激的で面白いです。定期的にテストもあるので自分の成長がわかります。今のところあまりいい成績ではないですが、このセミスターが終わるころには自分の成長を実感できるように頑張りたいと思います。私のクラスは月曜日から木曜日まで授業があり、月・火・水は朝の9時から13時まで、木曜日は9時から15時半まで授業があります。お昼ご飯は友達と学食で食べます。学生だと3,30ユーロで食べられるのですが、一回学生証を忘れたときは9ユーロくらいしました。とても悲しい思いをしたので二度と忘れないように気を付けたいです。フランスならではの、ストライキがあったり、祝日がある週はカフェテリアもお休みになる事があります。そんなときは大学に来ているキッチンカーでお昼を食べたり、近くのケバブ屋さんかマクドナルドに行きます。あとフラ



ンスはいたるところにブーランジェリー(パン屋)があるので昼食に困ることはありません。学食に比べると高いですが、たまにはいいかなと思います。(フランスのパン屋さんはパティスリーと一緒にいるのが普通なのでパンもケーキも買うことができます!)



フランスでの日常生活

私は寮に住んでいるので、夜ご飯は自分で準備しなければなりません。寮の近くに比較的安いスーパーがあるのでよくそこに買い物に行っています。パスタやラビオリを買ってきて調理したり、めんどくさいときは電子レンジで加熱するだけのものを食べたりしています。食が合わないと思ったことはありませんが、パンやパスタなど小麦粉製品ばかりなのでとてもお米が食べたいです。フランスに来て一度も米を食べたいと思わなかった日はありません。こちらにもお米はあるのですが、日本のものと比べるとパサついていて食べると少し残念な気持ちになるので食べていません。フランス料理もおいしいのですが、フランスに来て思ったのは、甘いものが本当においしいということです。特にアイスは絶品です。ブーランジェリーで買うケーキも、普通のスーパーで買うデザートも全部おいしいです。カロリーがとても心配なので、自制が大事です。洗濯は寮のコインランドリーか、少し歩いたところにあるコインランドリーかのどちらかを使用しています。寮のほうが安いのですが、少し汚れているときがあるので、気になる場合は歩くのが大変ですがきれいな法に行きます。また、最近まで寮のコインランドリーはコインしか使えなく、しかもおつりが出ないのでぴったり用意する必要がありましたが、今はカードしか使えなくなったのでコインを用意する必要がなくなりました。フランスはとてもキャッシュレスなので現金を使う機会があまりありません。なので現金はあまり用意しなくてもいいかもしれません。

10月のハイライト

10月は私たち留学生を歓迎してくれるパーティーがディジョンの中心街で開かれました。無料で参加できるのに、ワインや軽食、お土産まで用意してくださいました。いろんな国から来た留学生の学生たちと話すことができるととても楽しかったです。これからも多くの人と話し、フランス語を吸収していきたいと思います。



